

当院は下記の研究に協力しています

日本産科婦人科学会 周産期登録事業および登録情報に基づく研究

研究の目的・意義

この研究では、日本産科婦人科学会会員が所属する施設で本事業の趣旨に賛同する登録加盟施設において、全出産例の母体情報、胎児情報および分娩周辺の関連医学情報を規定の登録フォームにコンピュータ入力し、収集された施設毎のデータを日本産科婦人科学会が匿名化処理後に保存します。この事業への参加によって、①当施設が本邦の周産期関連情報データベースに参加することによって学術的側面から周産期学の発展に寄与すること、②登録参加施設となることを通じて、本データベースを用いて学会あるいは他の研究者から報告される新たな知見を当施設における臨床研究および疫学的解析に敷衍する手段が得られること、③登録参加により当施設の臨床研修施設認定および研修活動が有利になること、が期待されます。

研究の方法

当院で分娩されるすべての患者さんを対象としており、それぞれの患者さんについて妊娠中の経過、分娩の状況について要約したデータベースを作成します。

最終的な結果は、年次報告として日本産科婦人科学会雑誌に毎年掲載されますので、どなたでもご覧になれます。

➤ 調査項目

患者さんの週数、出生体重、出生時の状況とその後の治療経過、およびお母様の妊娠・分娩の状況など

※患者さんの氏名や生年月日など、本人を特定出来る一切の個人情報には調査対象ではなく、個人情報が公表されることはありません。

研究実施機関

日本産科婦人科学会の認定する、全国の分娩取扱施設

※参加医療機関は日本産科婦人科学会のホームページ(<http://www.jsog.or.jp/>)に、概要を掲載しております。